

町は学校

市町村名		推進組織名			関係学校名						
大和町		大和町協働教育推進協議会 (大和町地域学校協働本部)			吉岡・吉田・鶴巣・落合・宮床・小野小学校 大和中学校・宮床中学校						
		設立年度	教育委員会・担当課		関係学校学級数	児童生徒数					
		H23	大和町教育委員会生涯学習課		107学級	2,532人					
統括的な地域学校協働活動推進員数	統括的なコーディネーター数	地域学校協働活動推進員数	コーディネーター数	地域連携担当数	登録ボランティア数						
0人	0人	0人	15人	8人	290人						
活動目標	家庭と学校、地域との協働体制の構築を図りながら、家庭教育、学校教育、地域活動の支援を行うことにより、学校教育のさらなる充実と地域の教育力の向上を図る。										
【連絡先】	所在地			電話番号	FAX番号						
	〒981-3680 黒川郡大和町吉岡まほろば一丁目1-1			022-345-7508	022-344-3755						
協力企業・団体・大学・NPO等			E-mail	syakyo@town.taiwa.miyagi.jp							
家庭教育サポートチーム、各地区婦人会、各地区児童館母親クラブ、金取神楽保存会、吉田地区更生保護女性会ほか、計20団体			URL	https://www.town.taiwa.miyagi.jp							
人口	28,564人	割合	65歳以上	22.0%	面積	225.49km ²	学校数	幼・保・こ	9園	産業等	農業、林業、商工業
			15～64歳	63.0%				小学校	6校		
			0～14歳	15.0%				中学校	2校		

これまでの経過

たいわ家庭教育サポートチーム執行部委員6人、地域コーディネーター15人、学校コーディネーター8人放課後子ども教室コーディネーター7人

- 平成17年度鶴巣小学校で地域と学校をつなぐコラボスクール活動開始。大和町放課後子ども教室「わいわい」として小野小学校で「大和っ子ワイワイ塾」開始。
- 平成19年度より放課後子ども教室として吉田・落合・鶴巣を加え実施。
- 平成20年10月に地域教育協議会を設置し大和中学校区内の小中学校5校を対象として学校支援地域本部事業に取り組む。
- 平成23年度より「学校支援地域本部実行委員会」を母体に「大和町協働教育推進協議会」と改め、宮床中学校区地域教育協議会を加え大和町全域の小中学校で「宮城県協働教育プラットフォーム事業」に取り組む。平成24年1月に「たいわ家庭教育サポートチーム」を設置。
- 平成25年度より、放課後子ども教室「わいわい」に宮床小学校を加えて実施。
- 平成32年度組織改定予定

地域学校協働活動

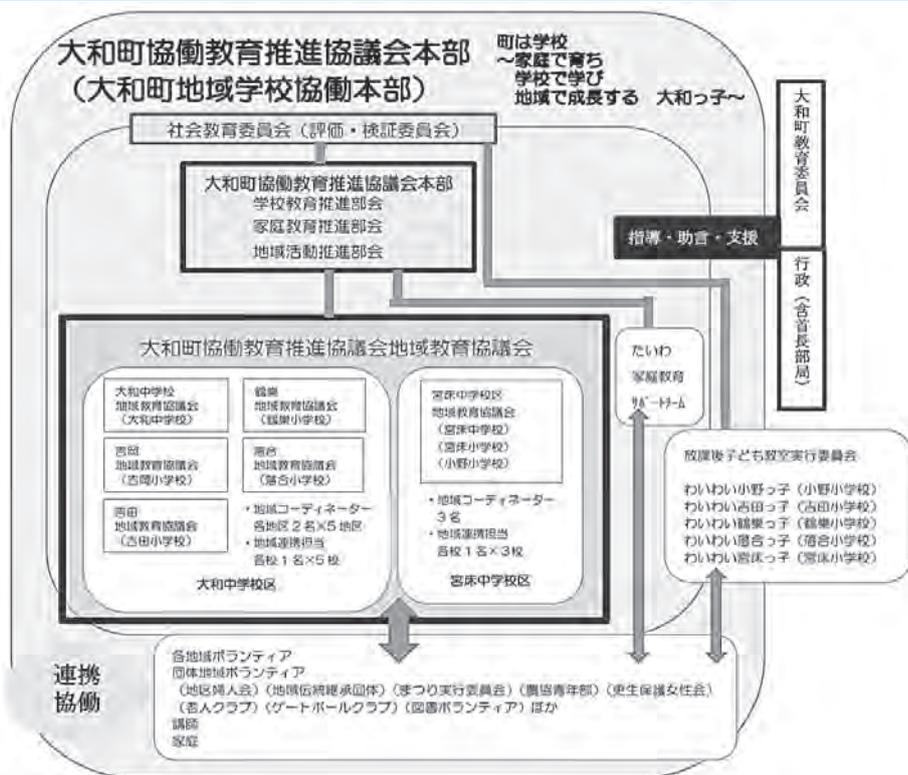
●学校支援活動	●家庭教育支援活動	●地域活動	●放課後子ども教室
安全見守り、学習支援活動、地域理解、図書整備・読み聞かせ、学校行事支援、環境整備、水害体験講話、職場体験・キャリア教育、自然体験、昔の遊び、あいさつ運動、部活動支援、その他	子育て講座、家庭教育支援チームによる、にこにこままサロン、子育てサポーター養成講座、子育てサポーターによる託児支援	自然体験活動、インリーダー研修、ジュニア・リーダー活動	わいわい小野っ子67人 わいわい吉田っ子24人 わいわい鶴巣っ子47人 わいわい落合っ子25人 わいわい宮床っ子16人 (各種体験学習等)

工夫している点

- 活動の周知を図るため、年に2回印刷物を作成し全戸に配布している。また、各活動をテーマにボランティア研修会を全地域を対象に行うことで、同じ活動の方々が集まる機会を設け、学びを深めると同時に連携に向けて交流を図っている。

行政の支援や取組

- 大和町協働教育推進協議会及び各地域教育協議会の調整・支援
大和町協働教育推進協議会本部の機能（学校支援活動・家庭教育支援活動・地域活動・放課後子ども教室）の支援
- 地域連携担当（学校コーディネーター）の委嘱と地域コーディネーターと社会教育主事の連携
地域連携担当に対し学校コーディネーターを委嘱し、各学校に配置することで連絡・調整機能の強化を図るとともに、地域コーディネーターとの連携体制を整える。



特色ある活動事例



吉岡小学校 参観時未就学児託児支援



宮床中学校 大豆栽培・加工



吉田小学校 金取り神楽ふれあい祭り披露

活動の成果

- ・活動開始から年々ボランティア延べ人数が増加してきたが、平成29年度はイノシシや熊の出没が相次ぎ、活動を中止したのも多くあったため前年度に比べると140人の減となった。そのような中でも活動を見直したり、新たな活動が生まれたりしながら、平成30年度の活動へと継続されており、協働活動が定着している。
- ・ボランティア同士の交流が促進され、生きがい作りにつながっている。
- ・震災の影響からか、若い世代の人口が増している中で子どもの出生率も増加している。従来からの住民との交流の機会を増やすことで、安心して子育てをする環境の醸成やボランティア自身の生きがい作りにつながっているという声が寄せられている。

今後の活動に向けて

- ・子どもを地域全体で育てるための、各所のゆるやかな連携を広める。
- ・地域間の人材不足や人数の格差の解消に向けて、地域を越えた活動についても促進する。
- ・統括的なコーディネーターの育成を図り、各地域の特徴を活かした活動や地域間の連携を図る。

これから着手する予定

市町村名		推進組織名			関係学校名						
大郷町		大郷町協働教育推進事業運営協議会			大郷小学校, 大郷中学校						
		設立年度	教育委員会・担当課		関係学校学級数	児童生徒数					
		H23	大郷町教育委員会社会教育課		18学級	586人					
統括的な地域学校協働活動推進員数	統括的なコーディネーター数	地域学校協働活動推進員数	コーディネーター数	地域連携担当数	登録ボランティア数						
0人	0人	8人	0人	2人	0人						
活動目標	子どもを地域全体で育むために、家庭・地域・学校が協働し、家庭・地域の教育力向上を目指す。										
【連絡先】	所在地			電話番号		FAX番号					
	〒981-3521 大郷町中村字屋舗65-2			022-359-2982		022-359-4537					
協力企業・団体・大学・NPO等			E-mail	kaiyo@town.miyagi-osato.lg.jp							
大郷町子ども会育成会, 大郷町文化協会, 大郷町社会福祉協議会, 大郷町子育て支援センター, 大郷町子育て支援チーム			URL	-							
〇〇市町村の概要											
人口	8,126人	割合	65歳以上	35.9%	面積	82.01km ²	学校数	幼・保・こ	3園	産業等	農業, 建設業, 加工業, 小売業, 観光, 飲食業, 福祉,
			15~64歳	52.9%				小学校	1校		
			0~14歳	11.2%				中学校	1校		

これまでの経過

- ・平成23年度に「大郷町協働教育プラットフォーム運営協議会」を立ち上げた。
- ・町内の小・中学校, 幼稚園等と連携・協働し, 学校支援活動や地域活動支援を行う。
- ・支援内容は, 環境整備, 体験活動, 学習支援, ボランティアの育成・支援等を中心とした。
- ・平成24年度から放課後子ども教室や学校支援, 家庭教育支援, 地域活動支援を開始した。
- ・平成29年度より, 名称を「大郷町協働教育推進事業運営協議会(地域学校協働本部)」とした。
- ・平成30年度より, 小中学校の地域連携担当教諭を運営協議会委員として委嘱し, これまで以上に連携, 協働しやすい環境づくりを行った。

地域学校協働活動

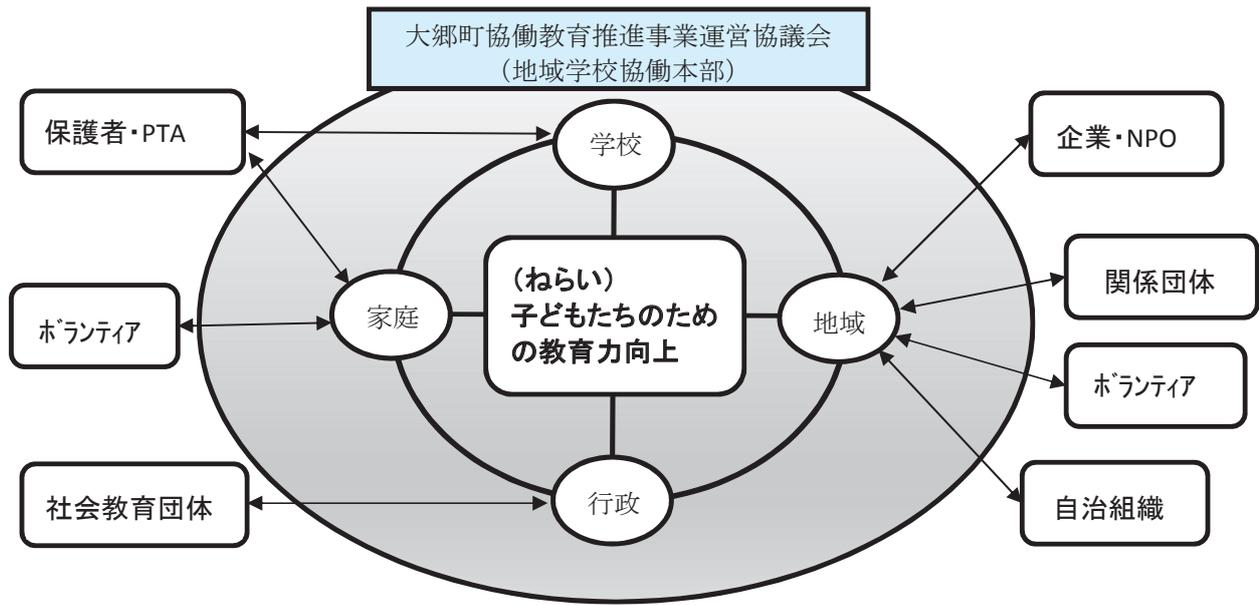
●学校支援活動	●家庭教育支援活動	●地域活動	●放課後子ども教室
スクールバス乗降支援, 英語学習支援, 環境整備支援, 体験学習支援, 食育学習支援, 小学校常駐コーディネーター	家庭教育支援講座, 家庭教育学級「みんなともだち」, 憩いの場創出事業「ママCafé」	町民劇場, 親子創作講座, 子ども絵画教室事業, ジュニア・リーダー活動支援, 体験学習事業支援	郷子舎 平均30人参加(学習支援, 体験学習, 自由遊び支援)

工夫している点

- ・ボランティアの募集はチラシだけでなく, 既に活動されているボランティアの人脈を活用し, 人材確保に努めている。
- ・SNSを活用し, 活動の状況や内容を広く発信している。
- ・活動支援について, 過度な需要・供給にならないよう関係者と情報共有を図り, できるだけ双方に負担の無い形の運営を心掛けている。

行政の支援や取組

- ・大郷町協働教育推進事業運営協議会(地域学校協働本部)の指導・支援
事務局及び町の窓口として, 協議会の開催, 各種活動支援, 人材育成支援を行う。
- ・地域学校協働活動推進員の委嘱と社会教育主事の助言・指導
地域学校協働活動推進員を委嘱し, 関係者と協議のうえ必要に応じた役割分担を定め, 学校及びボランティア等との連絡・調整を図る。また, 社会教育主事が企画・運営に関する助言・指導できる体制を整える。



特色ある活動事例

【ゆったりママCaféぽっかぽか(憩いの場創出事業)】

主に乳幼児を子育て中の保護者に対し、交流の場を創出し、地域交流や仲間づくりを目的として、「ゆったりママCaféぽっかぽか」を実施している。(家庭教育支援)

この事業は、大郷町子育て支援チーム「ぽっかぽか」が主体となり、他の町事業との共同開催や、町有施設または民間施設での開催など、場所や形態を変えながら、また、アンケートで保護者のニーズを調査し、希望に沿った形で活動している。

事業の運営は、子育て支援チーム員、町職員のほか、子育て支援センター職員、地域住民にも協力をいただいている。

子育て支援チーム員は、託児支援や保護者の悩み相談、その他交流のためのファシリテーター役として活動している。

地域住民は、それぞれ自分が持っている特技などを活かし、読み聞かせによる託児支援やお茶菓子の提供などを行っている。

おいしいコーヒーやお茶、お菓子を囲みながら、子育て談議や悩み相談を通し、地域住民の新しい繋がりが生まれている。



町の他事業と共同開催



地域のお寺を会場に開催

活動の成果

- ・学校支援では、コーディネーターが定期的に来校し、学校からの要望をつぶさに拾い上げているため、希望や実態に則した支援を実施できている。
- ・家庭教育支援では、子育て中の保護者が子育て支援チーム員となることで、保護者が本当に必要としている支援や学びを掘り下げて提供できている。
- ・地域活動支援では、ボランティア同士の交流が促進し、生きがいがづくりにつながっている。
- ・放課後子ども教室では、児童館を会場に、児童がより利用しやすい環境を整えるために関係者と調整を図り、地域住民の協力を得ながら、児童の学習や体験活動を実施できた。

今後の活動に向けて

- ・個々の活動において、児童生徒の学習意欲向上などのきっかけ作りに繋がっているものの、事業・活動の連続性や継続性がないことから、より丁寧なフォローアップが必要と考える。
- ・ボランティアや活動支援員の高齢化が課題である。新規ボランティアとして活動できる人材の発掘・育成が急務となっている。今後、ボランティア養成講座等の開催を検討したい。
- ・関わる人・機関が多い活動であることから、円滑に活動を推進するためにも、関係者に対し報告・連絡・相談と情報共有を心掛ける。

学びのまち富谷

市町村名		推進組織名			関係学校名						
富谷市		富谷市地域学校協働本部			富谷小学校、富ヶ丘小学校、東向陽台小学校、あけの平小学校、日吉台小学校、成田東小学校、成田小学校、明石台小学校、富谷中学校、富谷第二中学校、東向陽台中学校、日吉台中学校、成田中学校						
		設立年度	教育委員会・担当課		関係学校学級数	児童生徒数					
		H20	富谷市教育委員会 生涯学習課		214学級	6,109人					
統括的な地域学校協働活動推進員数		統括的なコーディネーター数	地域学校協働活動推進員数	コーディネーター数	地域連携担当数	登録ボランティア数					
0人		0人	0人	15人	3人	284人					
活動目標	地域の教育力を学校や子どもたちの学びにいかす。そして、学校・教師の教育力を地域のみなさんの学びへいかす。お互いの教育力をいかし、つながりを深め、笑顔輝く人づくりやまちづくりをする。										
【連絡先】	所在地			電話番号		FAX番号					
	〒981-3305 富谷市一ノ関膳合山6-8			022-358-5400		022-358-9159					
協力企業・団体・大学・NPO等				E-mail	syogaigakusyu@tomiya-city.miyagi.jp						
-				URL	-						
富谷市の概要											
人口	52,569人	割合	65歳以上	19.6%	面積	49.18km ²	学校数	幼・保・こ	6園	産業等	卸売業、小売業、製造業、医療、福祉、運輸業、郵便業
			15～64歳	63.3%				小学校	8校		
			0～14歳	17.1%				中学校	5校		

これまでの経過

- 平成20年8月 学校支援地域本部キックオフ
- 平成20年9月 実行委員会開催、地域コーディネーター養成講座開催、地域アンケート実施、各地区地域教育協議会発足、事業パンフレット作成
- 平成21年 学校支援の開始、コーディネーター・ボランティアの活用
- 平成29年 本事業が始まり10年目を迎える

地域学校協働活動

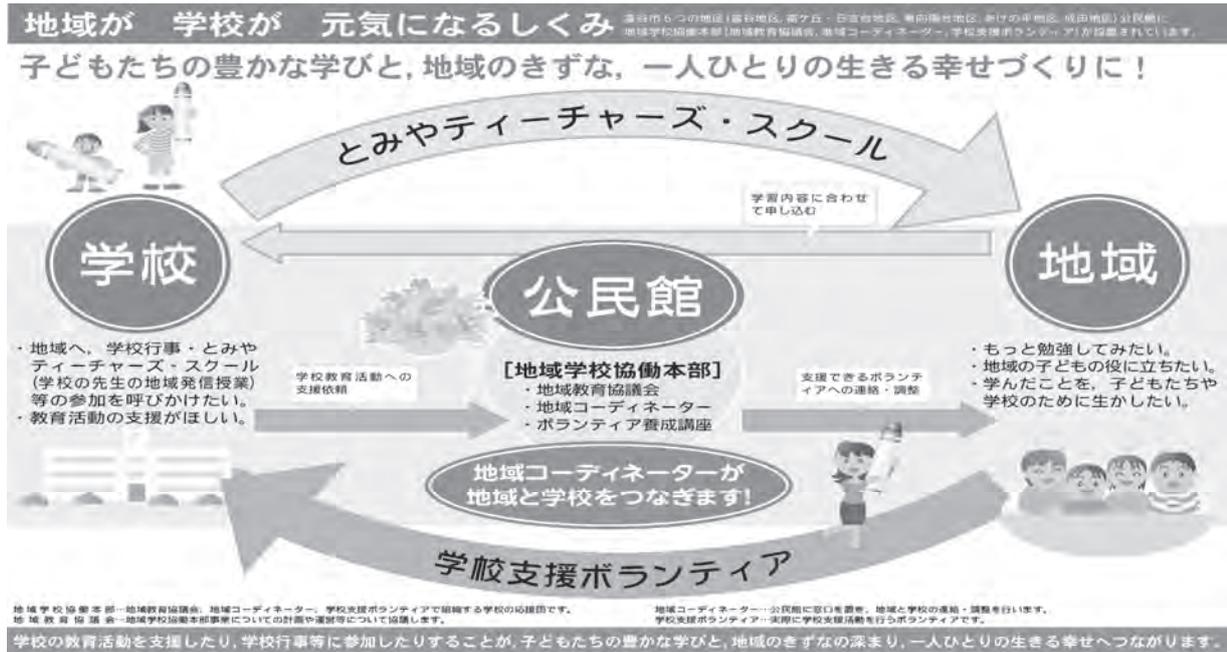
●学校支援活動	●家庭教育支援活動	●地域活動	●放課後子ども教室
<ul style="list-style-type: none"> 学校支援ボランティア(読み聞かせ、昔の道具体験、音楽活動支援、スポーツテスト補助、給食補助、地域防災訓練・地域防災学習その他) とみやティーチャーズスクール 	<ul style="list-style-type: none"> 幼児学級 子育てサロン 	<ul style="list-style-type: none"> 西コミ自然ふれあい学校 炭焼き体験教室 親子凧づくり体験 	富谷中央・あけの平・富ヶ丘・成田、市内4つの公民館にて実施(学習アドバイス、英語遊び、料理教室、工作等)

工夫している点

- 地域コーディネーターと地域連携担当教諭による合同研修会を開催。講師を招いての講演や、各地区の地域コーディネーターと地域連携担当教諭との交流により、それぞれの役割についての理解を深めたり、当事業の具体的な取組について検討する機会となっている。

行政の支援や取組

- 富谷市地域学校協働本部事業の実施
 - 市内5つの地区(富谷地区、富ヶ丘・日吉台地区、東向陽台地区、あけの平地区、成田地区)の公民館に設置されている地域学校協働本部の運営を行う。
- 各地区地域コーディネーターの委嘱
 - 各公民館に窓口を置き、地域と学校の連絡を調整を行う。



特色ある活動事例

富谷市の「つなぐ取組」のなかで、地域活動支援として行なわれている「西コミ自然ふれあい学校」「炭焼き体験教室」は大変好評で、小学生とその保護者を対象としているのだが、応募者多数のため抽選で参加者を決めざるを得ないことがあるほど。

西コミ自然ふれあい学校は、閉校した小学校を地域のコミュニティづくりの場として生まれ変わった、西成田コミュニティセンターを利用し開催。春と秋の2回、畑づくりと野菜の収穫や、池の生き物観察、森の整備体験、クラフト活動などを行う。

秋には「祭田あったか炭クラブ」の方々のご協力のもと、炭焼き体験教室を開催。炭ができるまでのお話や、出来上がった炭を使った小物作りを教えていただく。また、炭焼き場においては、初めて出会った子どもたちがあつという間に仲良くなり、虫を捕まえて遊ぶなど、終始和やかな雰囲気のなか行われる。

また、冬には「西成田地区コミュニティ推進協議会」の方々のご協力をいただき、親子凧づくり体験を開催。この場所で凧づくりを教えてくださいになった経緯についての説明の後、和紙への絵付け、竹ひごの組み立てなどを行い、お昼の豚汁を食べた後には西コミのグラウンドで、参加した親子たちが早速凧あげを行う。

いずれにおいても、地域の方々の協力なしでは成り立たないものであり、そうした協力のおかげで地域間の交流も図れている。



炭焼き体験教室



親子凧づくり体験

活動の成果

- ・開かれた学校づくりが促進され、児童と地域住民のコミュニケーションが生まれ、地域の方の自己実現の場になっている。
- ・各学校と各地域の連携が深まりとてもよく機能している。
- ・子どもたちの潤沢な学びを後押しすることで、地域住民同士の「きずな」が強くなり、学校を訪れることも多くなり、先生方にも地域を知ってもらえる。

今後の活動に向けて

- ・ボランティア数の減少、高齢化が懸念されている。また、学校支援事業そのものが思うように浸透していない部分がある。市の広報誌やホームページにおいて、学校支援事業の紹介や、ボランティアスタッフへの協力の呼びかけを積極的に行っていきたい。

これから着手する予定

市町村名		推進組織名			関係学校名						
大衡村		-			-						
		設立年度	教育委員会・担当課		関係学校学級数	児童生徒数					
-		-		-	-						
統括的な地域学校協働活動推進員数		統括的なコーディネーター数	地域学校協働活動推進員数	コーディネーター数	地域連携担当数	登録ボランティア数					
0人		1人	0人	1人	2人	31人					
活動目標		-									
【連絡先】				所在地	電話番号	FAX番号					
				〒981-3692 黒川郡大衡村大衡字平林62番	022-345-2197	022-344-2597					
協力企業・団体・大学・NPO等				E-mail	syogaku@vill.ohira.lg.jp						
-				URL	-						
〇〇市町村の概要											
人口	5,983人	割合	65歳以上	28.0%	面積	60.32km ²	学校数	幼・保・こ	3園	産業等	農業, 製造業
			15~64歳	57.2%				小学校	1校		
			0~14歳	14.8%				中学校	1校		

これまでの経過

- ・平成24年に学校支援ボランティアを開始した。
- ・平成24年2月に放課後子ども教室を開始した。

地域学校協働活動

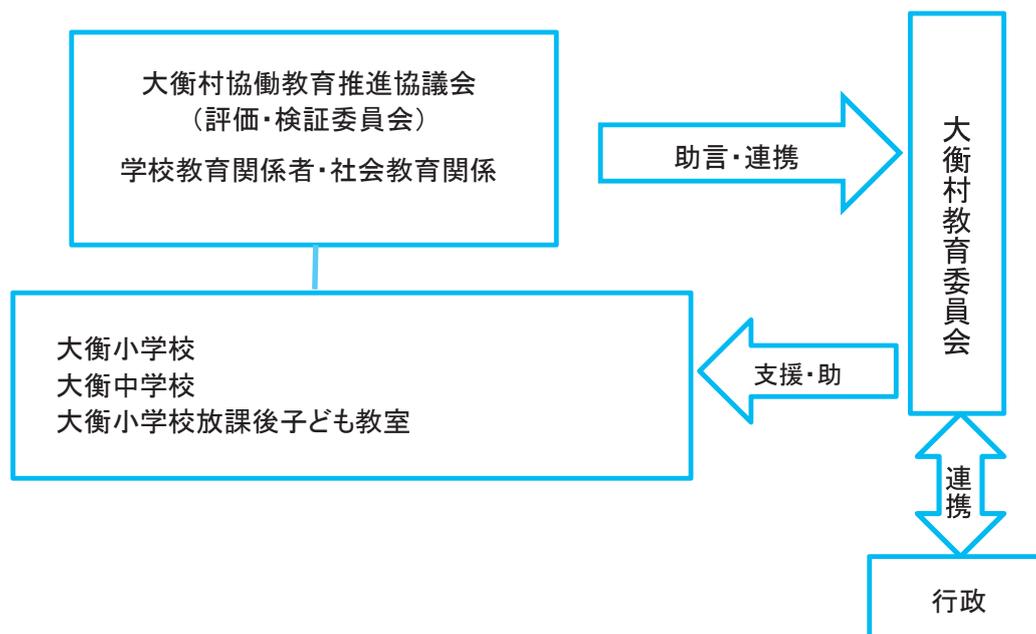
●学校支援活動	●家庭教育支援活動	●地域活動	●放課後子ども教室
学習支援, 図書室整備	家庭教育講演会	-	大衡小放課後子ども教室 30人(宿題, プリント学習 などの学習活動)

工夫している点

- ・放課後子ども教室の指導を学校の学習支援員に行ってもらい, 教員との連携を図りやすくし, 授業の進行に合わせた指導を行っている。

行政の支援や取組

- ・平成24年に協働教育推進協議会を立ち上げ, 助言, 協力をいただいている。



特色ある活動事例

学校支援ボランティアによる昔遊びの指導



ボランティアによる学校支援(昔遊び
・紙鉄砲)



ボランティアによる学校支援(昔遊び
・カルタ)



ボランティアによる学校支援(昔遊び
・手あそび)

活動の成果

・学校支援で行っているミシン指導や昔遊び指導では、ボランティアと児童の交流が図られるようになった。

今後の活動に向けて

・対象校が小中一校ずつということもあり、学校支援のニーズも限られたものとなっているため、大きな成果があげられていないのが実情である。今後はさらにネットワークを広げ、企業等にも協力を呼びかけ、ボランティアの内容を充実させていく必要がある。